

令和6年度 鈴ノ宮保育園 自己評価

「たくましく生きる力を育む」を基に自ら考え判断する子・心身ともに健康な子・感謝と思いやりを持つ子・食べ物を大切にする子を目標に良識ある人間を育てる基礎づくりをしています。年齢に応じた体験や経験をする中で、一人ひとりの育ちを大切にする教育・保育、同じ年齢であっても育ちは違い、そういった育ちを大切にする教育・保育を実践しています。

・教育・保育について

子ども達の年齢に応じた体験や経験を通し遊び方や生活を大切にしながら、自ら学び・意欲的に取り組めるようにしていきました。

食育では、野菜や果物の生長を観察・収穫し楽しみながらクッキングをしました。キッチンでの取り組みで、旬の野菜を使った献立メニュー等で食への意欲が高まり、より興味を持つことが出来たのではと思います。

クラスで起こった問題点も職員全体で取り組み、丁寧な言葉がけをし、気持ちを受け止め安心して過ごせるようにする事で、相手の気持ちをより理解する事に繋がっていったのではと思います。

暑さの為、戸外活動ができないことも多く、室内での遊びの工夫や、行事の検討を考える時期にきています。

・小学校との連携について

小学校との交流は、おもちゃランドに招待して頂いたり、毎年恒例のハロウィン・お花渡しなど、校区の小学校に行くこともできました。また、小学校に、職員が授業の見学をさせて頂き、また校長先生と就学スタートするにあたり、何が大切かを話し合い、接続を意識した取り組みが出来ました。

こちらからも、行事や保育の見学を提案しましたが日程調整が難しく、次年度は計画を立てて企画していけたらと思います。

幼保小との合同研修会は各小学校と個別に連携し情報共有することができましたが、地域の小学校との連携・協働の話し合う機会に力を入れていきたいです。

・地域交流・子育て支援について

地域交流も通常通り行うことが出来ました。やんちゃクラブは小学校に出前保育に行き、園庭開放は、園でしか体験出来ない季節ごとの行事や、収穫体験は今年も好評でした。ただ、乳児の参加が多いので内容の見直しが必要だと感じました。繰り返し利用していただくことで気軽に利用できる子育ての居場所になれるようにと考えています。

中学校の職場体験や高齢者の方との昔遊び、高齢者施設にハロウィンで訪問する事ができ、楽しい触れ合いが出来ました。これからも、色々な年齢の方と交流をしていきたいです。

・保護者支援・子ども支援について

保護者に対しては、クラスだより・ホームページ・よいこネットなどを通じて情報を発信していきましました。日頃から保護者とのコミュニケーションのツールとして可視化に取り組んでいます。園内だけでなく、情報の発信を地域の方にも周知していけるようにと思います。

問題が発生した時も個々に応じ、その都度迅速な対応していき各機関と素早く動けるように、職員共有の理解をする事で大きな問題のない一年になりました。

また、外国国籍の家庭は言葉の問題や共通の理解が難しく感じ、適切な援助や関わりが持てるようにしていきたいです。

・職員の資質向上について

今までに参加が少なかった造形や伝承遊び・手遊びなどポイントを絞っての実践研修は職員にとっても、いい経験になり教育・保育に直ぐに取り入れることが出来ました。

研修や専門委員会・勉強会も行って来ましたが、職員会議の中でプチ研修をし報告出来る時間の確保などをすることで、より多くの自分達の保育の振りかえりをする事が出来たのではと思います。チームで保育をすることの大切さ、保育者同士のチームワークが保育の質に大きく関わって働きやすい職場作りに欠かせない事、保育の楽しさ・やりがいを実感できるようにと思います。

また、個人情報・ハラスメント・不適切保育等に職員が気付くことができで園全体で共有する事で意識を高めていきたいです。

・安全への取り組み・健康について

安全については、火災・地震・不審者・水害の訓練をしていきました。

自然災害が増えている中で、園にあったBCP作成の取り組みや保護者の引き渡し訓練での課題も多く、次年度に向けて話し合いを重ねて行けたらと思います。

今年度から、AEDの訓練機を利用し全職員が一年を通し何度もAEDに触れる事ができました。

欠席児童に対しても安否の確認で連絡する事で、保護者の方にもより安全面ついて理解して頂きました。

健康面に対しては、感染症は今年度も多く感じました。これからも、手洗い・うがいに気を付けて予防に繋がってしていきたいです。

子どもたちの取り巻く環境は、子どもの成長に大きな影響を与えます。家庭・教育・保育・地域・社会・デジタルなど様々な環境に子ども達が安心して、命を大切に作る心を育てながら見守っていききたいです。

園長 中辻 美紀